

# あけまして おめでとう

# ございます 年頭にあたり



上三川町議会議長  
田村 稔

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和2年の新春を晴れやかに迎えの心より喜び申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。又、重ねて、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

元号が平成から令和に変わり、初めて迎えた新年でございますが、昨年を振り返りますと、数十年に一度という大きな災害が全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしました。本町におきましても、台風19号により浸水や農作物への被害がございました。被災された皆様方に対しまして、あらためてお見舞い申し上げます。この教訓を活かし、さ

らなる防災対策の推進に議会といたしましても、尽力してまいります。

さて、本町議会は、昨年12月の改選によりまして、1月から新たに選ばれた議員でスタートいたします。

今、地方の時代を迎えて、地方自治体の意思決定機関であります議会が、大変大きな責務をもっていると考えております。本議会におきましては、平成28年から昨年までの4年間にわたり、町民に信頼され活力ある議会活動の実現のため、第2期となる議会活性化に向けた改革検討会を開催し、議会における課題等について検討を重ね、議会基本条例の策定やホームページにおける会議録の公開など、議会改革を推進してまいりました。

その一環として、議員定数の見直しも行い、今回の改選時から議員定数が2名減の14名となりましたが、今年も我々議員に与えられた使命を十分に認識するとともに、町民の皆様の負託に応えるため、今まで以上に、活発な議会を目指し、行政の監視役としての役割に止まらず、町政と住民の橋渡し役として、地域住民の声を幅広く町政にとどけるため、議員一同、活動してまいります。

住みよい町を造っていくためには、行政だけでは力が及びません。住民と行政の協働が必要不可欠です。議会といたしましても、その一翼を担うべく力を尽くしてまいりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、地域の皆様方にとって幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

はじめに、昨年10月の台風第19号により被害に遭われた町民の皆様にお見舞い申し上げます。また、全国的にも8月の九州北部豪雨や台風第15号など、昨年も多くの自然災害に見舞われました。被災された地域の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。町といたしましては、これまでの自然災害から得た教訓を踏まえ、国・県と連携し、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安全・安心なまちづくりを推進してまいります。

昨年は、新天皇陛下の御即位に伴い「令和」時代が幕を開けました。新天皇陛下の御即位を心からお祝い申し上げるとともに、上皇上皇后両陛下の末永きご健勝を心からお祈りいたします。

本町におきましては、上三川インター南産業団地の工事に着手し、新たな雇用と税収の確保に向けた事業が順調に進んでおります。さらに、1市2町の広域連携バス「ゆうがおバス」の運行がスタートし、住民サービスの向上と近隣市町との連携強化を図ることができました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年は、2020東京オリンピックが開催されます。さらに、2年後の2022年にはいちご一会とちぎ国体の開催が迫っております。本町ではフェンシング競技が行われますので、これに向け、体育センターの改修工事や富士山公園周辺の新たな道路整備などを進めてまいります。工事期間中、皆様にはご不便とご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

また、AIやロボットの普及による新たな時代がすぐそこまで来ている昨今において、小中学校ではプログラミング教育が取り入れられ、論理的思考を育むこととなります。本町では、そのために必要なタブレット端末を増やすなど、教育環境の充実を図ります。

私は、この度、皆様に支えられ、3期目の町政運営を任せていただくことになりました。今後も町民の皆様と対話を重ね、上三川町が「住んでいて良かった」、「今後も住み続けたい」と思っていただけ町になるよう努力してまいります。

結びに、町民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



上三川町長  
星野 光利